

続 太田 一歴史と風土一



太田郷土誌発刊委員会

目 次

はじめに

- 発刊を祝って 高岡市長 角田 悠紀
発刊にあたって 太田校下連合自治会長 増井 俊一

第一章 太田のこの 50 年間の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～6

1 国道 415 号線の開通にともなって

- (1) 伏木・氷見間の車道
- (2) 雨晴バイパスについて
- (3) 開通の効果

2 雨晴トンネルの開通と周辺の整備

- (1) 雨晴トンネルの開通
- (2) もみじ姫公園の設置
- (3) つまま公園の整備

3 雨晴駅とともに

- (1) 雨晴駅にみる世の中の変化
- (2) 雨晴駅 90 周年記念式典から 100 周年記念式典へ
- (3) 雨晴駅がギャラリーに

第二章 太田の産業の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～21

1 人口の推移

2 農業

- (1) 持続可能な農業経営に向けた現状と課題（太田地区）稲作
- (2) 太田西部土地改良区
- (3) 太田地区農地保全会
- (4) 太田中村地区環境保全会
- (5) 太田の特産物・サツマイモ、竹の子めし、しめ縄
- (6) 殿山農園
- (7) 太田ラッキー農園（前太田農園）

3 水産業

- (1) 海岸について
- (2) 護岸道路の電灯設置について
- (3) C C Z 計画について
- (4) 太田浦健康管理推進施設の建設
- (5) 海岸の砂浜、松林、寄り廻り波について
- (6) 漁業の形態と海の様相の変化について

(7) 松太枝浜浄化センターについて

(8) 海難、水難事故について

4 観光業

(1)-1 高岡市自然休養村

(1)-2 アップレ王国の開設

(1)-3 太田農園 いこいの里

(2) 雨晴温泉 磯はなび

(3) 道の駅「雨晴」

(4) 高岡市地域おこし協力隊 佐藤順

(5) 観光協会

(6) 観光ボランティア

5 太田にできた老人福祉施設・特別養護老人ホーム

6 林道の整備と新しい動き

(1) 太田地区の林道計画

(2) ハイキング、山岳ランニングコースとして

第三章 太田小学校創校 150 周年を迎えて・・・・・・・・・・・・・・・・23～35

1 創校 100 周年からの 50 年間の太田小学校の動き

(1) 児童数の推移及び歴代校長先生方

(2) 校舎等改築工事、周年行事と刊行物について

(3) 受け継いできた伝統行事

①日の出会

②左義長

③雨晴音頭

④つままの舞い

⑤海岸清掃活動及び漂着物調査

2 太田小学校 P T A

3 太田校下児童クラブ連合会

4 子供たちを守る新しい活動や組織

(1) 太田小学校同窓会の歩み

(2) 太田小学校教育振興会

(3) 「太田ささりんどう隊」の発足と活動

5 太田っ子の新しい動き

(1) 「ゆめの町 太田」の披露

(2) 新型コロナウイルス感染予防対策

(3) ゆるキャラの「め・い〜わちゃん」と「よしつねい〜わくん」誕生

6 太田学童保育について

(1) 太田学童保育の起こり

(2) 令和4年度の現状

①ねらい

②活動内容

③行事

7 太田保育園の歩み

(1) 沿革の概要

(2) 保育園に寄せる思い

第四章 太田校下連合自治会と各種団体の動き・・・・・・・・・・ 37～54

1 太田校下連合自治会の活動

2 高岡市立太田公民館

(1) 開設

(2) 主な活動

3 太田校下社会福祉協議会

(1) 太田地区民生委員児童委員協議会

(2) 野の花

(3) 大師ヶ岳の会

(4) 太田地区食生活改善推進委員会

(5) 太田地区ヘルスボランティア

(6) 太田地区母子保健推進員

(7) 太田校下健康づくり推進懇話会

(8) 高岡市更生保護女性会伏木支部太田会

4 高岡市消防団太田分団

5 太田校下体育振興会

6 太田老人クラブ連合会

7 太田婦人会

8 太田地区防犯指導委員会

9 太田校下青少年補導委員会

10 高岡市交通安全協会太田支部

11 太田校下環境保健衛生協議会

12 太田遺族会

13 太田地区有害鳥獣捕獲隊協議会

14 青年団活動

15 ボランティア団体「あいの風」の活動

第五章 国の史跡、重要文化財指定の建造物等の現在までの動き・・・55～62

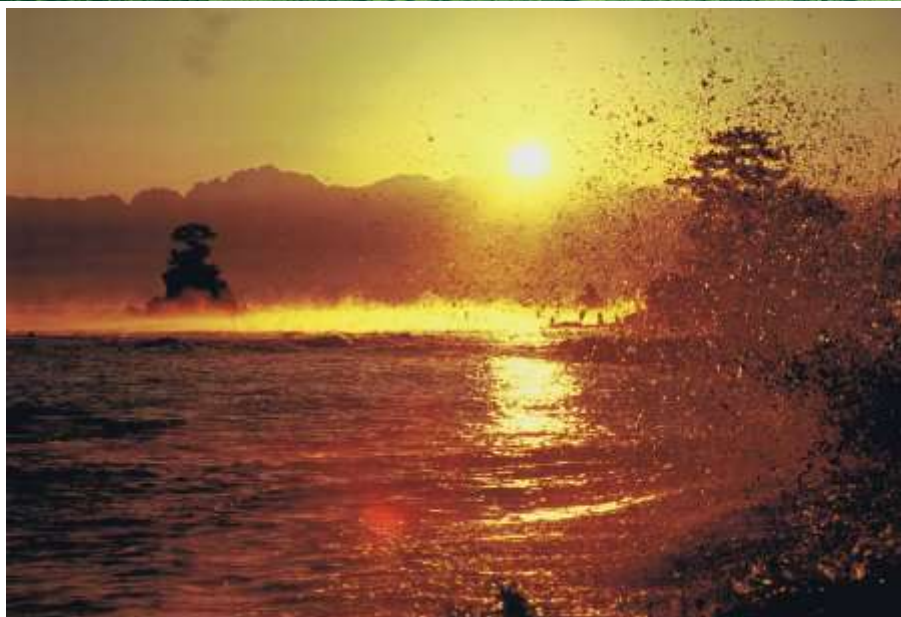
- 1 国史跡 桜谷古墳
- 2 国重要文化財 武田家
- 3 国泰寺
- 4 雨晴海岸、義経岩、女岩
- 5 心のよりどころ 獅子舞と神社

おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63～86

- 年表 この50年間のできごと 「太田校下の出来事、日本、世界の出来事」
 - 太田の伝説
 - 「首を切られた地藏」「国泰寺の蛇池伝説」「もみじ姫伝説」「与茂九郎池」
 - 「雨晴岩」「山岸の『清水』」「観音伝説」
 - 太田ふるさと検定
- 編集後記、編集委員、参考文献等

続 太田 一歴史と風土一

はじめに



発刊を祝って

高岡市長 角田 悠紀

『続 太田―歴史と風土―』が、ここに発刊されましたことを、心よりお喜び申し上げます。

雨晴海岸から富山湾越しに望む 3,000m 級の立山連峰の眺望、5 世紀に造営されたとされる桜谷古墳群、国指定名勝「おくのほそ道の風景地―有磯海―」、国指定重要文化財「武田家」、古刹国泰寺など、二上丘陵の一角をなす大師ヶ岳に抱かれた太田の地には、多くの魅力ある歴史と文化が息づいています。

昭和 48 年、太田小学校の創校 100 周年を機に発刊された郷土誌『太田―歴史と風土―』は、歴史や地理的な変遷、文化、生活、さらには、道端の石仏に至るまで、太田の隅々に目が向けられ、詳細に書き綴られています。当時の地域代表の方々や太田小学校の教職員が手を携え、一丸となり制作されたことをうかがい知ることができます。

『続 太田―歴史と風土―』は、環境の変化や産業の推移、連合自治会の歩み等、前回の発刊以降 50 年の太田地区の発展と変化についてまとめられており、以前にも増して深い愛情と熱意が込められたものになりました。本誌が、ふるさと太田を大切に思うすべての皆様の郷土読本として手元に置かれ、太田を慕い訪れる人々にとってよき羅針盤になるものと確信いたします。

高岡市は、人口減少・少子高齢化が進む中で、長期的な視点に立ち、次の世代からも共感を得られるまちづくりを展開していくとともに、新たな時代の潮流を取り入れた変革に挑戦しています。これまで築き、磨き上げてきたまちの魅力を最大限に活かすべく、「ひと」をまちづくりの主演ととらえ、市民の皆さまをはじめ、高岡に関わるすべての「人の力」で、持続可能で進化し続けるまちを目指してまいります。

今後とも、太田地区がその魅力をますます輝かせ、さらなる発展と繁栄を遂げられますことを心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

発刊にあたって

太田校下連合自治会
会長 増 井 俊 一

発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

わが愛する太田に小学校が設立されたのが、明治6年（1873年）9月であります。今年創校150周年を迎えました。ちなみに当時は新川県と言いました。明治9年（1877年）は、石川県でありました。明治16年（1884年）に初めて現在の富山県となりました。

そんな歴史を歩みながら、昭和48年（1973年）に、太田小学校が百周年を迎えました。当時の賢人たちは、それを記念して、太田の文化や歴史を次世代に残したいという思いから、「太田 歴史と風土」という郷土誌を発刊されました。

そして今年は、それから50年を迎えたわけであります。

太田小学校創校150周年を迎えるにあたり、「太田郷土誌発刊委員会」によって、続編としてその後の50年の太田の歩みを残すこととなりました。

数々の文化と歴史、景観を有する太田に生きる私たちは、これからもわが郷土を愛する心を持ち続け、感謝し、次の世代に引き継いでいかなければならないと思います。

発刊にあたり、編集に尽力されました太田の歴史と文化を継承するメンバー各位に、心より感謝申し上げますとともに、住民の皆様に改めて太田のよさを知っていただければ幸いに思います。

